

第14回 ITS シンポジウム 2016 ーフロンティアー北の大地から発信するITS

2016年11月10日(木)～11日(金)
北海道大学 クラーク会館

Final Program

プログラムは変更になる場合があります

主催 北海道大学 / 特定非営利活動法人 **ITS Japan**

協賛 計測自動制御学会 / 交通工学研究会 / 自動車技術会 / 情報処理学会
人工知能学会 / 電気学会 / 電子情報通信学会 / 土木学会
日本機械学会 / 日本交通心理学会 / 日本ロボット学会
自動車技術会 ITS 部門委員会 / 電気学会 ITS 技術委員会
電子情報通信学会 ITS 研究会
情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会
情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会
情報処理学会コビキタスコンピューティングシステム研究会

後援 北海道
独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部
一般社団法人北海道機械工業会

実行委員長 北海道大学大学院 工学研究院北方圏環境政策工学専攻 教授 田村 亨

プログラム委員長 北海道大学大学院 公共政策学連携研究部 教授 高野 伸栄

参加登録料 論文発表者 一般 15,000 円 / 学生 8,000 円 (いずれも論文投稿料を含みます)

聴講 一般会員 15,000 円 / 一般非会員 20,000 円 / 学生 3,000 円……11月2日(水)まで
一般会員 18,000 円 / 一般非会員 23,000 円 / 学生 3,000 円……11月3日(木)より

ITS Japan ウェブサイト http://www.its-jp.org/event/its_symposium/14th2016/にてご登録ください



11月10日(木)

9:30 開場

10:00-10:15 開会式

講堂

実行委員長挨拶 北海道大学大学院 工学研究院北方圏環境政策工学専攻 教授 田村 亨

主催者挨拶 特定非営利活動法人 ITS Japan 会長 佐々木 眞一

10:15-11:00 基調講演

講堂

「北海道内ものづくり企業の連携グループによる寒冷地仕様 EV の研究開発
～ITS との連携による効果的な EV の利活用を目指して～」

独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部 経営支援部長 松尾 一久

(独) 中小機構北海道は、北海道内ものづくり企業による、「ものづくり連携グループ」の形成・運営を支援し、同グループは、冬期間の雪道を安全・安心に走行できる、「寒冷地仕様小型電気自動車」の研究開発を推進してきた。今後 ITS と EV が連携することで、観光、宅配、中山間地域、介護など、より効果的な EV 利活用の可能性が広がり、地方創生の実現にも寄与できる。

本講演では、本研究開発により製造され、札幌モーターショー2016 に展示された試作車、「Neicle(ネイクル)」が完成するまでの背景、プロセス、課題、仕様・性能等や ITS を踏まえた今後の小型 EV の利活用の可能性などについて紹介する。

11:00-11:10 休憩

11:10-13:00 対話セッション 1

11:10-11:30 概要紹介(ショットガン)

講堂

11:30-12:30 ポスタープレゼンテーション

3 階会場

12:30-13:00 公開討議

3 階会場

太字は査読あり部門に投稿され、審査を経て採用が決まった査読付き論文です。

1-A. ドライバー挙動

3 階会場

モデレーター: 佐藤 健哉 同志社大学大学院 理工学研究科情報工学専攻 教授 /モビリティ研究センター センター長
瀬川 雅也 株式会社ジェイテクト 研究企画部産学連携推進グループ 主査

- 1-A-01 「アクセル・ブレーキ課題における上下肢運動の脳活動分析」
○大田学, 朴啓彰, ハンディティヨ・アウリアプトラ, 繁樹博昭(高知工科大学)
- 1-A-03 「感覚刺激および磁気刺激を組み合わせたドライバ覚醒手法における睡眠リバウンド現象の抑制効果に関する検証」
○森下陽平, 毛利佳之, 中野倫明, 山田宗男(名城大学), 毛利佳年雄(名古屋産業科学研究所)
- 1-A-04 「生体磁気刺激によるドライバ覚醒に効果的な磁界周波数の検証」
○竹川周吾, 久田勇貴, 毛利佳之, 中野倫明, 山田宗男(名城大学), 毛利佳年雄(名古屋産業科学研究所)
- 1-A-05 「実道走行時における運転行動と脳の活性化に関する研究」
○折野好倫, 山本浩司, 亀岡弘之(中日本高速道路), 高橋秀喜(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋), 岡徳之, 加藤俊徳(脳の学校), 杉町敏之, 中野公彦, 須田義大(東京大学)
- 1-A-06 「助言型 ISA 利用による規制速度の遵守意識変化に関する考察」
○楊甲, 山崎基浩, 安藤良輔(豊田都市交通研究所), 三村泰広(日本総合研究所), 松尾幸二郎, 杉原暢(豊橋技術科学大学), 向井希宏, 菅野甲明(中京大学)
- 1-A-07 「安全運転と円滑運転を促す運転支援システムがドライバの動機づけと運転技能に与える影響」
○平岡敏洋, 橘崇弘(京都大学)
- 1-A-08 「認知地図の構築過程に着目したドライバの地点把握度認識手法の提案と活用」
○松山聖路(神奈川工科大学), 徳永雄一(三菱電機), 清原良三(神奈川工科大学)
- 1-A-09 「バンコクにおけるタクシープローブデータによる運転者行動の分析」
○齊藤岳(パスコ), 長井正彦, アピション・ウィタヤンクーン(東京大学)
- 1-A-10 「運転の楽しみに関する心理的要素の特定」
○上出寛子(名古屋大学), 山邊茂之, 鈴木高宏(東北大学), 川合誠(元・本田技術研究所), 笠木雅史(京都大学), 高橋英之, 新井健生(大阪大学), 小菅一弘(東北大学), 森川高行(名古屋大学)

1-B. 渋滞対策と ITS

3 階会場

モデレーター: 内田 賢悦 北海道大学大学院 工学研究院北方圏環境政策工学部門社会基盤計画学分野 准教授
金森 亮 名古屋大学 未来社会創造機構人とモビリティ社会研究開発センター交通・情報システムグループ 特任准教授

- 1-B-01 「混合交通下におけるセグウェイ利用者挙動の実験的分析」
○チャリタ・ディアス, 井料美帆(東京大学), 霜野慧亮(東京農工大学), 中野公彦(東京大学)
- 1-B-02 「確率的最適化による深層学習とマルチエレメント GA を用いた交通渋滞緩和手法」
○中村新之介, 植村匠(崇城大学), 上瀧剛, 内村圭一(熊本大学)
- 1-B-03 「効率的な並列計算アルゴリズムによる動的交通量配分の高速計算」
○福田和輝, 井料隆雅(神戸大学), ウィジャラトネ・ラリット(東京大学), 浦田淳司(神戸大学)
- 1-B-04 「首都高における混雑課金による余剰への影響分析」
○大瀧逸朗, 今西芳一, 内山直浩(公共計画研究所), 根本敏則(一橋大学), 宮武宏輔(流通経済大学)
- 1-B-05 「対向車線の車両観測データを用いた交通流モニタリング -Variational Theory の適用」
○河合克哉(三菱電機), 竹之内篤(東北大学), 伊川雅彦(三菱電機), 桑原雅夫(東北大学)
- 1-B-07 「大規模ネットワークにおけるエリアランプ制御の効果評価」
○森部伸一, 和田健太郎, 大口敬(東京大学)
- 1-B-08 「車両周辺環境を考慮した協調型運転支援システムのシミュレーション評価」
○出村友秀, 野村晃啓, 佐藤健哉(同志社大学)

- 1-B-09 「実験所環境を利用した高度化 PTPS の機能確認実験」
 ○霜野慧亮(東京農工大学), 杉町敏之, 平沢隆之, 中野公彦, 大口敬(東京大学),
 水口孝夫, 武村浩司(パナソニック), 光安皓, 大島大輔(パシフィックコンサルタンツ)

1-C. ITS 技術開発 1

3 階会場

モデレーター: 山本 強 北海道大学大学院 情報科学研究科メディアネットワーク専攻 教授
 川村 秀憲 北海道大学大学院 情報科学研究科 情報理工学専攻 教授

- 1-C-01 「大規模道路ネットワークにおける車車間通信での空きチャンネル判定感度を考慮した隠れ端末の性質に関する一検討」
 ○五十嵐悠理, 藤井雅弘, 羽田野裕之, 伊藤篤, 渡辺裕(宇都宮大学)
- 1-C-03 「ARIB STD-T109 と互換性のある送信順序形成型アクセス制御方式の評価」
 ○横森崇宏, 藤井雅弘, 羽多野裕之, 伊藤篤, 渡辺裕(宇都宮大学)
- 1-C-04 「GPS を用いた位置推定における残留測距誤差特性に関する評価」
 ○服部暢, 藤井雅弘, 羽多野裕之, 伊藤篤, 渡辺裕(宇都宮大学)
- 1-C-05 「集約車両感知器情報を用いた故障検出手法の開発」
 ○弘津雄三, 岩岡浩一郎(パナソニックシステムネットワークス), 草間信幸(神奈川県警察本部)
- 1-C-06 「オイラー型センサーの効率的な配置に関する考察」
 ○松田真宜, 長岡修(ドーコン), 内田賢悦(北海道大学), 有村幹治(室蘭工業大学)
- 1-C-07 「UHF 帯 RF-ID と方位情報を用いた曲線路における車両誘導」
 ○山口純(北見工業大学), 佐藤史隆(朝日電機製作所), 川村武, 岸本恭隆, 柏達也, 今井卓(北見工業大学)
- 1-C-08 「車両位置推定のための移動走査コードを並べた区画線の提案」
 ○石野友美, 河中治樹(愛知県立大学), 浅井靖治(キクテック), 小栗宏次(愛知県立大学)
- 1-C-09 「特殊車両通行許可の電子地図情報による提供」
 ○大嶋一範, 牧野浩志, 玉田和也, 根岸辰行(国土交通省国土技術政策総合研究所)
- 1-C-10 「街のナビゲータが描く地域発 ITS モデルの発展形」
 ○森田均(長崎県立大学), 松坂勲, 山口泰生(長崎電気軌道), 曾理恵子, 酒井寿美雄(協和機電工業)



13:00-14:00 昼食

14:00-15:50 対話セッション 2

14:00-14:20	概要紹介(ショットガン)	講堂
14:20-15:20	ポスタープレゼンテーション	3 階会場
15:20-15:50	公開討議	3 階会場

太字は査読あり部門に投稿され、審査を経て採用が決まった査読付き論文です。

2-A. 交通事故対策

3 階会場

モデレーター: 平岡 敏洋 京都大学大学院 情報学研究科システム科学専攻 助教
 野口 好一 株式会社エイ・ダブリュ・ソフトウェア 技監

- 2-A-01 「高齢者における逆走の未然防止策と導入」
 ○山邊茂之, 鈴木高宏, 長谷川史彦(東北大学), 松本章, 武山和典(国土交通省東北地方整備局),
 濱中拓郎, 石川正樹, 宮田輝星(日本工営)
- 2-A-02 「無信号交差点での出会い頭衝突防止支援システムの効果:運転者の運転スタイルを考慮して」
 三村泰広(日本総合研究所), ○安藤良輔(豊田市交通研究所)
- 2-A-03 「事故データベースを活用した安全運転支援」
 ○岩里泰幸, 宇野巧(阪神高速道路), 大藤武彦, 小澤友記子(交通システム研究所)
- 2-A-04 「公用車のドライブレコーダーを活用した交通安全施策への適用方法に関する研究」
 ○後藤秀典(オリエンタルコンサルタンツ), 有賀浩一, 内藤義之(柏市役所),
 田中淳, 大近翔二(オリエンタルコンサルタンツ)

- 2-A-05 「ダイナミックマップを活用したアプリケーションプラットフォームの開発 -レーンレベルの危険情報提供の実現-」
○花井将臣(名古屋大学), 佐藤健哉(同志社大学), 渡辺陽介(名古屋大学), 中本幸一(兵庫県立大学), 山本雅基, 武井千春, 高田広章(名古屋大学)
- 2-A-06 「ドライバの運転動作に対応した走行軌道生成のための車両モデルの狭路区間への適用」
○福島悠斗, 齊藤充行, 脇田航, 小林康秀(広島市立大学), 市本貴宏, 石川陽一(ボッシュ)
- 2-A-07 「熊本地震後の路面凹凸状況速報 -スマートフォンを用いた迅速な調査-」
○八木浩一(パンプレコーダー)
- 2-A-08 「市街地における単路部横断歩道運用方式の効率性比較」
○ムハムド・アブドゥラ, 井料美帆, 和田健太郎, 大口敬(東京大学)
- 2-A-09 「物流車両の走行実態を踏まえたEV充電施設配置計画手法に関する研究」
○藤井篤史(建設技術研究所), 中村俊之, 宇野伸宏, ヤンダーク・シューマッカー(京都大学)

2-B. 冬期交通と技術開発

3 階会場

モデレーター: 大石 岳史 東京大学 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 准教授
太田 祐司 株式会社ドーコン 取締役 執行役員 交通事業本部長

- 2-B-01 「吹雪の視程障害時における視界情報提供実験とその効果」
○國分徹哉, 武知洋太, 原田裕介, 大宮哲, 西村敦史, 松澤勝(土木研究所寒地土木研究所)
- 2-B-02 「北海道における道路交通情報へのニーズと吹雪の視界情報へのニーズの関係の分析」
○渡辺柚佳子, 杉田正俊, 福本紗千(日本道路交通情報センター), 國分徹哉(土木研究所寒地土木研究所)
- 2-B-03 「道路カメラ画像および GPV 気象予報にもとづく道路構造・沿道環境を加味した吹きだまり深さ予測技術の開発」
○間山大輔, 星野洋, 正岡久明 (シー・イー・サービス), 萩原亨(北海道大学), 金田安弘, 越後謙二, 永田泰浩(北海道開発技術センター)
- 2-B-04 「データ放送における気象・交通情報の提供」
○三浦一樹, 大館文人, 高橋啓人, 高瀬敬信, 齋藤正宣(北海道テレビ放送)
- 2-B-05 「ドライビングシミュレータを用いた異なる情報提供による CO₂ 排出量削減効果の定量的把握」
○石黒祥梧, 松本幸正(名城大学)
- 2-B-06 「プローブデータを用いた除雪作業による道路交通改善の分析」
○遠藤隆浩, 猪村元, 田中讓(北海道大学)
- 2-B-07 「車載カメラ超解像における入力画像の最適な取捨選択に関する考察」
高野照久(東京大学), 松下脩暉(鹿児島大学), ○小野晋太郎(東京大学), 川崎洋(鹿児島大学), 池内克史(東京大学)
- 2-B-08 「超低磁界型磁気レーンマーカースステムの開発」
山本道治, 青山均, ○長尾知彦, 岡崎翔悟, 中村潤, 中田正明(愛知製鋼)
- 2-B-09 「高速道路の本線における軸重計測実験」
○新宅昭文, 山田丈裕(中日本高速道路), 佐藤尚良, 阿部 敦, 川崎洋輔, 櫻木伸也(オムロンソーシアルソリューションズ)

2-C. プローブデータ活用と公共交通

3 階会場

モデレーター: 森 博子 愛知淑徳大学 人間情報学部 准教授
中島 雄二 日産自動車株式会社 R&D エンジニアリング・マネジメント本部グローバル技術渉外部 シニアエンジニア

- 2-C-02 「商用車プローブデータを用いた移動時間信頼性の季節変動評価」
○金子辰也, 浅田拓海, 有村幹治(室蘭工業大学)
- 2-C-03 「バスプローブデータを活用した VICS 渋滞情報生成に関する研究~多車線道路における検討~」
○藤美沙子, 辰巳浩, 吉城秀治, 堤香代子(福岡大学), 吉松拓真(八千代エンジニアリング)
- 2-C-04 「カーナビプローブを活用した PT 調査データの発展的利用に関する一考察」
○加藤秀樹, 西堀泰英, 楊甲(豊田都市交通研究所)
- 2-C-05 「ETC2.0 プローブデータの拡充に関する調査研究」
○半田悟, 成田俊彦, 高橋勝則, 千田浩一, 三好孝明(道路新産業開発機構)
- 2-C-06 「スマートフォンを用いたバス運行状況システムの試用:路線バス事業者の利用における課題の整理」
○山川広人(千歳科学技術大学), 木滑英司(ツヨシオカ)

- 2-C-07 「700MHz 帯を利用した高度化 PTPS によるバスの定時性・速達性向上に向けた基礎的研究」
光安皓, 大島大輔, 吉池輝雄, ○今川高嶺(パシフィックコンサルタンツ)
- 2-C-08 「P/SV/V の 3 モード交通社会においてモーダルシフトが交通流に与える影響」
○石井豪, 長谷川孝明(埼玉大学)
- 2-C-09 「テーラーメイド型 SP 調査による高速道路利用者の時刻調整意向分析」
○丹羽航洋, 宇野伸宏(京都大学), 山崎浩気(地域未来研究所), 中村俊之(京都大学),
亀岡弘之, 山本隆, 山本浩司(中日本高速道路), 高橋秀喜(中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋),
佐藤久長(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京)

15:50-16:00 休憩

16:00-17:30 企画セッション 1 「ふゆのくらしと ITS」

講堂

積雪寒冷地域のふゆのくらしでは、豪雪災害や日常的な暴風雪・路面凍結など安全性・確実性にかかわる対応を含めた寒冷地モビリティが重要な課題となっている。特に、過疎化・高齢化が進む北海道の生産空間においては、過酷な冬期気象状況下のモビリティ確保が今後のくらしの継続性を担保するうえで重要なカギとなっている。

本セッションでは、これらの課題に応じてこれまでの対応を振り返るとともに、昨今の急激な気象変化や地域の高齢化・過疎化を見据え、近未来の技術動向やふゆのモビリティについて議論する。

モデレータ： 萩原 亨 北海道大学大学院 工学研究院北方圏環境政策工学部門技術環境政策学分野 教授

パネリスト： 松澤 勝 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 上席研究員
金田 安弘 一般社団法人北海道開発技術センター 調査研究部 統括部長
渋谷 高志 ヤマト運輸株式会社 北海道支社 マネージャー 兼 安心生活創造事業推進室 室長
桜井 あけみ 斜里町議会議員 / しれとこウトロフォーラム 21 事務局

18:00 バンケット

レストランエルム

レストランエルム
北海道大学ファカルティハウス エンレイソウ内
(シンポジウム会場より徒歩 5 分)



11月11日(金)

9:00 開場

9:30-11:00 企画セッション2「自動運転の今: 期待と課題」

講堂

現在自動車の自動運転に関する研究が各所で行われており、近い未来に様々な自動運転機能を持った自動車が発売されることが期待されている。自動運転機能が搭載されることにより、人間に起因した事故件数の減少・被害規模の軽減が期待でき、また高齢過疎地域における公共交通機関の不足といった大きな問題を解決することも可能になると考えられる。このため、自動運転システムの社会への導入はモビリティの革新をもたらす意義深いものと考えられる。

一方、完全自動運転によるいわゆる Door-to-door の自動運転システム導入にはまだ多くの課題が残されているのも現実であり、完全自動運転システムへの期待と現実の課題を正しく理解し適切な情報発信を行わない限り、様々な問題を引き起こす可能性も秘めている。そこで本セッションでは、技術・法律・保険・社会的受容性に関連した専門家を招聘し、自動運転に関連した現状について理解する。また将来への期待と課題について議論を深める。

モデレーター: 菅沼 直樹 金沢大学 新学術創成研究機構 未来社会創造コア自動運転ユニット ユニットリーダー/准教授
パネリスト: 今井 猛嘉 法政大学 大学院法務研究科 教授, 弁護士
杓沢 一晃 東京海上日動火災保険株式会社
営業企画部 マーケティング室 グローバルマーケティンググループ 担当課長
三橋 剛 北海道 経済部産業振興課 産業振興課長

11:00-11:10 休憩

11:10-13:00 対話セッション3

11:10-11:30	概要紹介(ショットガン)	講堂
11:30-12:30	ポスタープレゼンテーション	3階会場
12:30-13:00	公開討議	3階会場

3-A. 災害と交通情報

3階会場

モデレーター: 高橋 清 北見工業大学 社会環境工学科モビリティマネジメント工学 教授
牧村 和彦 一般財団法人計量計画研究所 次長

- 3-A-01 「災害時における道路交通情報提供のあり方」
杉田正俊, ○福本紗千, 渡辺柚佳子(日本道路交通情報センター)
- 3-A-02 「災害時のリアルタイムアラート情報提供システムの構築」
○川崎洋輔, 桑原雅夫, 原祐輔(東北大学), 堀口良太, 小宮粹史(アイ・トランスポート・ラボ), 戸高弘統(日本気象協会), 浦山利博(アジア航測), 大坪裕哉(オリエンタルコンサルタンツ), 永井慎一(本田技研工業)
- 3-A-03 「豪雨および豪雪時の交通障害アラート情報の構築」
○丹治和博(日本気象協会), 桑原雅夫, 川崎洋輔(東北大学), 須藤哲寛(日本気象協会), 浦山利博, 高遠陶子(アジア航測), 永井慎一(本田技研工業)
- 3-A-04 「聴覚情報を活用した異常事象等伝達手法による注意喚起の研究(2)」
○山本浩司, 伊藤佑治, 亀岡 弘之(中日本高速道路), 高橋秀喜(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋), 亀川 徹(東京藝術大学)
- 3-A-05 「ドライビングシミュレータを活用した地震発生時の運転挙動分析」
○中村俊之, 宇野伸宏(京都大学), 玉川大, 八ツ元仁, 北澤俊彦(阪神高速道路)
- 3-A-06 「ETC2.0 プローブデータ活用による災害時通行可能ルートの把握可能性検討」
○水谷友彰, 井坪慎二, 鳥海大輔, 牧野浩志(国土技術政策総合研究所)

- 3-A-07 「SAR 画像とプローブカーデータを用いた被災地道路解析手法の提案」
○田中貴之, 佐治斉(静岡大学)
- 3-A-08 「東北被災地発のコミュニティ・カーシェアリング」
○鈴木高宏(東北大学), 吉澤武彦(日本カーシェアリング協会), 奥間保胤(CDS 経営戦略研究所), 竹中徹(石巻専修大学)
- 3-A-09 「大規模災害時の避難交通シミュレーションモデルの開発と適用」
○大畑長(オリエンタルコンサルタンツ), 花房比佐友, 高橋浩司(アイ・トランスポート・ラボ), 菅野桂子(オリエンタルコンサルタンツ), 川崎洋輔(東北大学), 須藤哲寛(日本気象協会), 江藤和昭(オリエンタルコンサルタンツ), 堀口良太(アイ・トランスポート・ラボ), 桑原雅夫, 三谷卓摩(東北大学)
- 3-A-10 「ヘリコプター映像を利用した浸水道路領域の抽出」
○小笠原共志, 佐治斉(静岡大学)

3-B. 自動運転と ITS の展開

3 階会場

モデレーター: 有村 幹治 室蘭工業大学大学院 工学研究科くらし環境系領域 准教授
福村 景範 株式会社ダイナックス 相談役



- 3-B-02 「AHP による自動車運転における楽しさの要因分析」
伊藤省吾, ○蒔苗耕司(宮城大学)
- 3-B-03 「交通社会ダイナミックマップによる協調運転支援の効果分析」
○金森亮, 高木建太郎, 渡辺陽介, 森川高行, 高田広章(名古屋大学)
- 3-B-04 「協調 ITS 開発に関する官民共同研究の中間報告」
○大竹岳, 小木曾俊夫, 吉村仁志, 牧野浩志(国土交通省国土技術政策総合研究所)
- 3-B-05 「『ETC2.0 車両運行管理支援サービスに関する社会実験』における効果について」
○根岸辰行, 松田奈緒子, 大竹岳, 牧野浩志(国土交通省国土技術政策総合研究所)
- 3-B-06 「ICT を利用した二次交通活性化からの地域活性化」
○高野元(ユニトランド), 野村文吾(十勝バス), 中木雄三郎(北海道拓殖バス), 櫻井政宏(帯広観光コンベンション協会)
- 3-B-07 「商用車プローブデータの挙動履歴を活用した ITS サービスの展開」
○仲条仁(ケー・シー・エス), 田中準二(矢崎エナジーシステム株式会社), 今井龍一(東京都市大学)
- 3-B-09 「ライブカメラを用いた都市レベルでの道路交通状況の把握」
○大野沙知子, 手嶋茂晴, 佐藤仁美(名古屋大学)

3-C. ITS 技術開発 2

3 階会場

モデレーター: 川村 武 北見工業大学 電気電子工学科 准教授
八木 浩一 バンプレコーダー株式会社 代表取締役

- 3-C-01 「高齢運転者の運転能力評価システムの開発」
○隅田康明(筑紫女学園大学), 林政喜, 合志和晃(九州産業大学), 松永勝也(九州大学)
- 3-C-02 「安全運転管理教育システム ASSIST における自己管理用の表示装置を持つ車載システムの開発」
○岸本喬仁, 合志和晃, 林政喜(九州産業大学), 隅田康明(筑紫女学園大学), 松永勝也(九州大学)
- 3-C-03 「ニューラルネットワークによる実環境を考慮しながら歩行検出に関する検討」
○石塚敦司, 奥村惇史, 高木健太郎, 中野倫明, 山崎初夫, 山田宗男(名城大学)
- 3-C-04 「車両型 MR のための複数全方位カメラを利用した頑健な位置合わせ」
藤本浩介, ○岡本泰英, 大石岳史(東京大学), 池内克史(マイクロソフトリサーチアジア)
- 3-C-05 「可変適応型推定ロジックに基づく高精度な移動コンテキスト推定方法の開発」
○柴崎匠, 二木幸祐, 柳澤伸(エイ・ダブリュ・ソフトウェア)
- 3-C-06 「ヒューマノイドロボットによる車両遠隔操縦のためのインタフェース開発」
○小川雅也, 本田克弥, 佐藤啓宏, 大石岳史, 池内克史(東京大学)
- 3-C-07 「実環境を考慮したスマートフォンながら状態検出手法の提案」
○山本匠, 高木健太郎, 奥村惇史, 山崎初夫, 中野倫明, 山田宗男(名城大学)

- 3-C-08 「道路管理における全方位映像の活用の可能性」
○坂井康一, 大石岳史, 小野晋太郎, 平沢隆之(東京大学)
- 3-C-09 「冬期道路有効幅員の効率的な計測技術」
○佐藤信吾, 住田則行, 村上和也(土木研究所寒地土木研究所)

13:00-14:00 昼食

14:00-15:30 企画セッション3「産業と社会の発展に挑む ITS」

講堂

ITSの発展による波及効果と期待を農業分野, 漁業分野から何うととも, ITS側からの産業界への寄与となる可能性について, パネルディスカッションを通じて議論を行う。

- モデレータ: 鈴木 恵二 公立はこだて未来大学 複雑系知能学科 教授
- パネリスト: 平藤 雅之 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 教授
和田 雅昭 公立はこだて未来大学 情報アーキテクチャ学科 教授
松舘 涉 株式会社未来シェア 代表取締役/株式会社アットウェア
堀口 良太 株式会社アイ・トランスポート・ラボ 代表取締役

15:30-15:50 閉会式

講堂

- プログラム委員長講評 高野 伸栄 北海道大学大学院 公共政策学連携研究部 教授
ベストポスター賞授与



プログラム委員会

- 委員長: 高野 伸栄(北海道大学)
- 委員: 山本強(北海道大学)、萩原亨(北海道大学)、川村秀憲(北海道大学)、内田賢悦(北海道大学)、松原仁(はこだて未来大学)、高橋清(北見工業大学)、川村武(北見工業大学)、有村幹治(室蘭工業大学)、菅沼直樹(金沢大学)、大石岳史(東京大学)、小木津武樹(群馬大学)、伊藤信之(北海道開発技術センター)、太田祐司(ドーコン) 杉本正和(デンソー北海道)、野口好一(エイ・ダブリュ・ソフトウェア)、福村景範(ダイナックス)、正岡久明(シー・イー・サービス)、松澤勝(寒地土木研究所)



特定非営利活動法人 ITS Japan
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル
TEL 03-5777-1011 / FAX 03-3434-1755 / <http://www.its-jp.org/>